

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和 5 年 10 月 28 日(日)午後 2 時～3 時 30 分  
場 所 上福岡五六丁目集会所  
参加者 32 人



### 主な意見等

参加者 今まではコロナで文化活動があまりできませんでしたが、活動が再開し 11 月にはステラ・ウェストでミュージックフェスティバルが行われます。参加する方は高齢者が多いので、交通手段を検討していただきたいです。駐車場が少ないので公共交通で来るように言われています。

市 長 移動手段としてはお出かけサポートタクシーや市内循環ワゴンのふじみん号があります。ふじみん号については上福岡駅西口から大井総合支所に向かう便もありますが、本数に限りがあります。駐車場については仮設の駐車場等で台数を増やしているところです。皆さんの税金によりふじみん号も運営していますので、11 月のイベントに間に合わせるのは難しいですが、移動手段については効果的な方法を考えていかなければならないと思います。

参加者 マイナンバーカードを保険証として使うため、紐づけの手続をしました。マイナンバーカードが有効期限前に更新されるのかを心配しています。今の保険証は期限が切れる前に配達記録で届くので直接受け取れます。マイナンバーカードは発行の時に数か月待たされることがありましたが、更新の際は大丈夫なのではないでしょうか。保険証として使え

ない期間ができてしまうと困ります。

市長 マイナンバーカードの有効期間は発行日から10回目の誕生日までで、電子証明書の有効期間は発行日から5回目の誕生日に設定されています。有効期限が切れる1か月以上前には更新の案内を送付します。その際に手続きをしていただければ大丈夫です。

参加者 市役所の窓口で職員が出てこないことがありました。こちらには気が付いているように感じましたが、対応しない職員がいました。対応が遅れるようであれば一言声をかけていただきたいと思いました。事務仕事をしていて気が付かないこともあるかと思いますが、どのようになっているのでしょうか。

市長 せっかくお越しいただいたにもかかわらず対応が遅れたようであれば大変申し訳ございません。職員には来庁者目線で対応するよう伝えていきます。今後対応を徹底します。

参加者 介護予防センターでぴんしゃん体操のサポーター養成講座を受けています。3時間で6日間の講座です。1回でも欠席すると次年度に再度受けなければならないと聞いています。補講的な仕組みを作ってほしいです。周りで欠席した場合には補講をしてもらえると言っている人もいますが、どのように対応していただけるのでしょうか。

市長 受講していただいて感謝申し上げます。欠席した場合に補講があるようであれば、誤解をあたえないように説明するように伝えたいと思います。皆様のご協力のおかげで、ふじみ野市は介護予防に力を入れていることで県からも評価され、補助金をもらっているところです。

参加者 上福岡図書館を新しくしていただき、その工事の間も臨時窓口も作っていただけるとのことで利用者として頼もしく思っています。上福岡西公民館の図書室をよく利用していますが本の入れ替えがないと感じています。好きなジャンルを読み尽くしてしまっていて、検索して書庫に入っている本を取り寄せています。新刊購入ではなくてもいいので、入れ替えていただきたいと思います。人手や費用の問題があるかもしれ

ませんが、本棚に並んでいるものを手に取って選ぶ楽しさがほしいです。

市長 図書館は指定管理者制度を導入していますが、管理する上で入れ替えができないということはないと思います。上福岡西公民館の図書室についても本の入れ替え状況を確認し、指定管理者に入れ替えをするよう伝えたいと思います。建物だけではなく本も含めて市民の方が利用しやすいようにすることが大事ですので、図書館に伝えたいと思います。

参加者 福岡新田の企業誘致で物流倉庫が建つ場所の周辺の道についてです。7月に通ったときは草が刈ってありましたが、10月に入った頃には草が伸びていて、真ん中を走るとぶつかるほどでした。上福岡総合病院から運動公園の方にまわっていくと草が相当伸びています。

市長 新河岸川の河川敷は県が管理しており、草刈りについても川越県土整備事務所が行っています。市としてもなんとか早く行ってもらいたいと県に伝えているところです。

参加者 消防団についてです。消防団との懇親会を行いました。が、団員が少なくなっています。この地域の消防団は第2分団ですが4人欠員しています。団員が減っているので、このままでは消防団が機能しなくなってしまうと心配しています。  
また、上福岡七夕まつりや町内会の夏祭りを行いました。が、人手不足になっていて様々なことを維持することが難しいと感じています。これから先の運営のあり方は考えないといけないと思いますが、市としてはどのように考えているのでしょうか。

市長 団体のあり方が変わってきていると感じています。コロナで地域活動ができなくなったことで、さらに加速して難しくなりました。個人の価値観も変わってきており、個人主義が増えてきていると思います。地域で助け合うという考えが減ってきていますので、やり方を変えることも必要であると考えています。

参加者 介護保険料について、年々上がっています。市として必要な総額などがあるのでしょうか。今後下がることはありえないのでしょうか。

市長 介護給付といって介護保険の必要額を推計します。3年ごとに見直しますが、介護給付が3年間でどのくらい必要なのかの見込を立てます。その見込額により介護保険料基準額が決められますが、この基準額は所得によって変わります。これは国からの数値なども使いながら計算します。今は第8期で令和3年度から5年度の期間ですが、第9期も上がるの見込まれます。

参加者 介護保険を何十年も払っていますが、1度も使ったことがありません。介護保険料は高いと思いますので、職員に介護保険を使わない人は介護保険料を下げるなどの対応はないのかと話したことがあります。そうしたところ職員に「介護保険を使わないことは幸せなことですね。」と言われました。今まで考えたことがない表現だったので、良いことを言うなあと思い感謝しました。

市長 良いお話を聞かせていただき、ありがとうございます。